

白老町長コメント

平成29年3月16日

本日の社会資本整備審議会道路分科会事業評価部会の審議において、一般国道36号 白老拡幅（樽前～社台（延長4.8 km）の4車線化）が新規事業箇所として妥当とされたことにつきまして大変ありがたく思います。

当該事業は、2020年の民族共生象徴空間開設に向けてのアクセス改善にとって重要な事業であるとともに、象徴空間整備を活かして発展を目指す本町にとりましても極めて重要な事業です。

本町としても、民族共生象徴空間へ訪れる方をしっかりとお迎えすべく、受け入れやおもてなしの環境整備を着実に進めていくとともに、象徴空間一般公開までに当該事業を完成していただけるよう、総力を挙げて円滑な事業進捗の環境確保に努めてまいり所存です。

今後、平成29年度の新規事業として採択されるよう、引き続き努力してまいります。